



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

| | | | |
|-------|------------|------|------------|
| SDS番号 | 41-9486-6 | 版 | 2.00 |
| 発行日 | 2023/04/03 | 前発行日 | 2021/08/17 |

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M[®] クリーン&シャイン 光沢復元 洗剤

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

硬質床材メンテナンス用途

1.3. 会社情報

| | |
|------|--------------------|
| 供給者 | スリーエム ジャパン株式会社 |
| 所在地 | 本社 東京都品川区北品川6-7-29 |
| 担当部門 | コマーシャルソリューション技術部 |
| 電話番号 | 0570-012-388 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分2A

水生環境有害性 短期（急性）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル

感嘆符

ピクトグラム

**危険有害性情報**

| | |
|------|---------|
| H319 | 強い眼刺激 |
| H402 | 水生生物に有害 |

注意書き**安全対策**

| | |
|------|---------------|
| P264 | 取扱後はよく洗うこと。 |
| P273 | 環境への放出を避けること。 |

応急措置

| | |
|--------------------|--|
| P305 + P351 + P338 | 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 |
| P337 + P313 | 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。 |

廃棄

| | |
|------|------------------------------------|
| P501 | 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。 |
|------|------------------------------------|

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

| 成分 | CAS番号 | 重量% |
|---------------------|------------|-----------|
| 水 | 7732-18-5 | 75 - 100 |
| アクリルコポリマー | 営業秘密 | < 10 |
| ポリケイ酸リチウム | 12627-14-4 | < 2.0 |
| 分枝アルキルアルコールアルコキシレート | 営業秘密 | 0.5 - 1.5 |
| エトキシジグリコール | 111-90-0 | < 1.0 |
| シラントリオール金属塩 | 営業秘密 | < 1.0 |
| エトキシ化アルキルアルコール | 営業秘密 | < 0.5 |
| シロキサン系消泡剤 | 営業秘密 | < 0.1 |
| エトキシ化C9～C11アルコール | 68439-46-3 | 2.8 |

4. 応急措置**応急措置****吸入した場合**

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

石鹼と水で洗剤する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗剤する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗剤を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質

ホルムアルデヒド

一酸化炭素

二酸化炭素

条件

燃焼中

燃焼中

燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧なし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 新鮮な空気での場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に

向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。水で残さを清浄する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

眼への接触を避ける。工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管

熱から離して保管する。凍結させないこと。酸から離して保管する。強塩基から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

| 成分 | CAS番号 | 政府機関 | 許容濃度または管理濃度 | 備考 |
|------------|----------|------|------------------------------------|----|
| エトキシジグリコール | 111-90-0 | AIHA | TWA:140 mg/m ³ (25 ppm) | |

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m³ : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

サイドシールド付安全メガネ

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質**基本的な物理・化学的性質**

| | |
|---|--|
| 外観 | 液体 |
| 色 | 無色～白色 |
| 臭い | 穏やかな匂い。 |
| 臭いの閾値 | データはない。 |
| pH | 10.6 - 11.3 [詳細：希釈後pH 9.0-9.8] |
| 融点・凝固点 | 適用しない |
| 沸点, 初留点及び沸騰範囲 | >=93.3 °C |
| 引火点 | >=93.3 °C [試験方法：クローズドカップ法] |
| 蒸発速度 | データはない。 |
| 引火性（固体、ガス） | 適用しない |
| 燃焼点（下限） | データはない。 |
| 燃焼点（上限） | データはない。 |
| 蒸気圧 | <=2,333.1 Pa [試験条件：20 °C] |
| 蒸気密度/相対蒸気密度 | >=1 |
| 密度 | >=0.98 g/ml |
| 比重 | >=0.98 [参照基準：水=1] |
| 溶解度 | 可溶。 |
| 溶解度（水以外） | データはない。 |
| n-オクタノール/水分係数 | データはない。 |
| 発火点 | 204 °C |
| 分解温度 | データはない。 |
| 粘度/動粘度 | データはない。 |
| 揮発性有機化合物 | <=0.1 [試験方法：カリフォルニア州大気資源局（CARB）による計算値] |
| 揮発分 | データはない。 |
| 水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS-GHSの要求項目ではない） | データはない。 |
| モル重量 | 適用しない |

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。
火花ないし炎

混触危険物質

強酸
強塩基
強酸化性物質

危険有害な分解物

| 物質 | 条件 |
|--------|----|
| 知見はない。 | |

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。

眼に入った場合

眼への激しい刺激：発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

| 名称 | 経路 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|------------------|------|-----|--------------------------------|
| 製品全体 | 皮膚 | | 利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg |
| 製品全体 | 経口摂取 | | 利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg |
| エトキシ化C9～C11アルコール | 皮膚 | ウサギ | LD50 > 2,000 mg/kg |
| エトキシ化C9～C11アルコール | 経口摂取 | ラット | LD50 1,378 mg/kg |
| ポリケイ酸リチウム | 皮膚 | | LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg |
| ポリケイ酸リチウム | 経口摂取 | ラット | LD50 > 2,000 mg/kg |
| エトキシジグリコール | 皮膚 | ウサギ | LD50 9,143 mg/kg |
| エトキシジグリコール | 経口摂取 | ラット | LD50 5,400 mg/kg |
| シラントリオール金属塩 | 経口摂取 | ラット | LD50 > 2,000 mg/kg |
| エトキシ化アルキルアルコール | 皮膚 | ウサギ | LD50 > 2,000 mg/kg |
| エトキシ化アルキルアルコール | 経口摂取 | ラット | LD50 > 700 mg/kg |
| シロキサン系消泡剤 | 皮膚 | ウサギ | LD50 > 19,400 mg/kg |
| シロキサン系消泡剤 | 経口摂取 | ラット | LD50 > 17,000 mg/kg |

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

| 名称 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|------------------|----------|---------|
| エトキシ化C9～C11アルコール | ウサギ | 刺激物 |
| ポリケイ酸リチウム | ウサギ | わずかな刺激 |
| エトキシジグリコール | ウサギ | 刺激性なし |
| シラントリオール金属塩 | 専門家による判断 | 腐食性 |
| エトキシ化アルキルアルコール | 類似健康有害性 | 刺激物 |
| シロキサン系消泡剤 | ウサギ | 刺激性なし |

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

| 名称 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|------------------|----------|---------|
| エトキシ化C9～C11アルコール | 専門家による判断 | 腐食性 |
| ポリケイ酸リチウム | ウサギ | 腐食性 |
| エトキシジグリコール | ウサギ | 中程度の刺激 |
| シラントリオール金属塩 | 類似健康有害性 | 腐食性 |
| エトキシ化アルキルアルコール | 専門家による判断 | 腐食性 |
| シロキサン系消泡剤 | ウサギ | 刺激性なし |

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

| 名称 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|------------------|-------|-----------|
| エトキシ化C9～C11アルコール | モルモット | 区分に該当しない。 |
| エトキシジグリコール | ヒト | 区分に該当しない。 |

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

| 名称 | 経路 | 値又は判定結果 |
|------------------|----------|---------|
| エトキシ化C9～C11アルコール | In vitro | 変異原性なし |
| エトキシジグリコール | In vitro | 変異原性なし |
| エトキシジグリコール | In vivo | 変異原性なし |

発がん性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖毒性

生殖発生影響

| 名称 | 経路 | 値又は判定結果 | 生物種 | 試験結果 | ばく露期間 |
|------------------|--------|---------------------|-----|---------------------|-------|
| エトキシ化C9～C11アルコール | 皮膚 | 雌について生殖毒性は区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 250 mg/kg/日 | 2世代 |
| エトキシ化C9～C11アルコール | 皮膚 | 発生毒性区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 250 mg/kg/日 | 2世代 |
| エトキシ化C9～C11アルコール | 皮膚 | 雄について生殖毒性は区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 100 mg/kg/日 | 2世代 |
| エトキシジグリコール | 皮膚 | 発生毒性区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 5,500 mg/kg/日 | 器官発生期 |
| エトキシジグリコール | 経口摂取 | 発生毒性区分に該当しない。 | マウス | NOAEL 5,500 mg/kg/日 | 器官発生期 |
| エトキシジグリコール | 吸入した場合 | 発生毒性区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 0.6 mg/l | 器官発生期 |
| エトキシジグリコール | 経口摂取 | 雄について生殖毒性は区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 2,200 mg/kg/日 | 2世代 |

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

| 名称 | 経路 | 標的臓器 | 値又は判定結果 | 生物種 | 試験結果 | ばく露期間 |
|------------------|--------|---------|--------------------|---------|-----------|-------|
| エトキシ化C9～C11アルコール | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | 非該当 | NOAEL 非該当 | 非該当 |
| ポリケイ酸リチウム | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | 類似化合物 | NOAEL 非該当 | |
| エトキシジグリコール | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | | NOAEL 非該当 | |
| エトキシ化アルキルアルコール | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 呼吸器への刺激のおそれ。 | 類似健康有害性 | NOAEL 非該当 | |

特定標的臓器毒性、反復ばく露

| 名称 | 経路 | 標的臓器 | 値又は判定結果 | 生物種 | 試験結果 | ばく露期間 |
|------------------|------|-----------------|--------------------|-------|-----------------------|-------|
| エトキシ化C9～C11アルコール | 皮膚 | 腎臓および膀胱 造血器系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 125 mg/kg/day | 13 週 |
| ポリケイ酸リチウム | 経口摂取 | 神経系 腎臓および膀胱 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | 類似化合物 | NOAEL 非該当 | |
| エトキシジグリコール | 皮膚 | 腎臓および膀胱 | 区分に該当しない。 | ウサギ | NOAEL 1,000 mg/kg/day | 12 週 |
| エトキシジグリコール | 経口摂取 | 肝臓 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | ブタ | NOAEL 167 mg/kg/day | 90 日 |
| エトキシジグリコール | 経口摂取 | 腎臓および膀胱 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | マウス | NOAEL 2,700 mg/kg/day | 90 日 |
| エトキシジグリコール | 経口摂取 | 内分泌系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 2,500 mg/kg/day | 90 日 |
| エトキシジグリコール | 経口摂取 | 心臓 造血器系 神経系 | 区分に該当しない。 | マウス | NOAEL 8,100 mg/kg/day | 90 日 |

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

| 材料 | CAS番号 | 生物種 | 種類 | ばく露 | テストエンドポイント | 試験結果 |
|-----------|------------|------|---------------------------|-------|------------|-------------|
| アクリルコポリマー | 営業秘密 | 該当なし | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| ポリケイ酸リチウム | 12627-14-4 | 緑藻類 | 推定値 | 72 時間 | EC50 | >345.4 mg/l |
| ポリケイ酸リチウム | 12627-14-4 | ミジンコ | 実験 | 48 時間 | EC50 | >220 mg/l |
| 分枝アルキル | 営業秘密 | 緑藻類 | 実験 | 72 時間 | EC50 | 31.9 mg/l |

| | | | | | | |
|---------------------|----------|----------------|-----|-------|-------|------------|
| アルコールアルコキシレート | | | | | | |
| 分枝アルキルアルコールアルコキシレート | 営業秘密 | ミジンコ | 実験 | 48 時間 | EC50 | 33.6 mg/l |
| 分枝アルキルアルコールアルコキシレート | 営業秘密 | 緑藻類 | 実験 | 72 時間 | NOEC | 6.25 mg/l |
| エトキシジグリコール | 111-90-0 | 緑藻類 | 推定値 | 96 時間 | EC50 | >100 mg/l |
| エトキシジグリコール | 111-90-0 | バクテリア | 実験 | 16 時間 | EC10 | 4,000 mg/l |
| エトキシジグリコール | 111-90-0 | チャンネルキヤットフィッシュ | 実験 | 96 時間 | LC50 | 6,010 mg/l |
| エトキシジグリコール | 111-90-0 | ミジンコ | 実験 | 48 時間 | LC50 | 1,982 mg/l |
| エトキシジグリコール | 111-90-0 | 緑藻類 | 推定値 | 96 時間 | NOEC | 100 mg/l |
| シラントリオール金属塩 | 営業秘密 | 緑藻類 | 推定値 | 72 時間 | EC50 | >120 mg/l |
| シラントリオール金属塩 | 営業秘密 | ミジンコ | 推定値 | 48 時間 | EC50 | >500 mg/l |
| シラントリオール金属塩 | 営業秘密 | ゼブラフィッシュ | 推定値 | 96 時間 | LC50 | >500 mg/l |
| シラントリオール金属塩 | 営業秘密 | 液状化 | 実験 | 3 時間 | EC10 | >100 mg/l |
| シラントリオール金属塩 | 営業秘密 | 緑藻類 | 推定値 | 72 時間 | NOEC | >=120 mg/l |
| シラントリオール金属塩 | 営業秘密 | ミジンコ | 推定値 | 21 日 | NOEC | >=100 mg/l |
| エトキシ化アルキルアルコール | 営業秘密 | ファットヘッドミノウ(魚) | 実験 | 96 時間 | LC50 | 1.63 mg/l |
| エトキシ化アルキルアルコール | 営業秘密 | 緑藻類 | 実験 | 96 時間 | EbC50 | 2.9 mg/l |
| エトキシ化アルキルアルコール | 営業秘密 | ミジンコ | 実験 | 48 時間 | EC50 | 2.1 mg/l |
| エトキシ化アルキルアルコール | 営業秘密 | ファットヘッドミノウ(魚) | 実験 | 30 日 | NOEC | 0.73 mg/l |
| エトキシ化アルキルアルコール | 営業秘密 | 緑藻類 | 実験 | 96 時間 | NOEC | 1.2 mg/l |

| | | | | | | |
|--------------------------|------------|-----------------------|---|-------|-------|------------|
| ール | | | | | | |
| シロキサン系 消泡剤 | 営業秘密 | 該当なし | 分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足してい る。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| エトキシ化 C9～C11ア ルコール | 68439-46-3 | ファットヘッ ドミノウ (魚) | 実験 | 96 時間 | LC50 | 8.5 mg/l |
| エトキシ化 C9～C11ア ルコール | 68439-46-3 | 緑藻類 | 実験 | 72 時間 | ErC50 | 45 mg/l |
| エトキシ化 C9～C11ア ルコール | 68439-46-3 | ミジンコ | 実験 | 48 時間 | EC50 | 2.686 mg/l |
| エトキシ化 C9～C11ア ルコール | 68439-46-3 | ファットヘッ ドミノウ (魚) | 実験 | 30 日 | NOEC | 0.73 mg/l |
| エトキシ化 C9～C11ア ルコール | 68439-46-3 | 緑藻類 | 実験 | 72 時間 | NOEC | 1.2 mg/l |

残留性・分解性

| 材料 | CAS番号 | 試験の種類 | 期間 | 試験の種類 | 試験結果 | プロトコル |
|---------------------------------|------------|-------------|------|---------------|------------------------------|--------------------------------------|
| アクリルコポ リマー | 営業秘密 | データ不足 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| ポリケイ酸リ チウム | 12627-14-4 | データ不足 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| 分枝アルキル アルコールア ルコキシレー ト | 営業秘密 | 実験 生分解 性 | 28 日 | 生物学的酸素 要求量 | >60 %BOD/ThO D | OECD 301F |
| エトキシジグ リコール | 111-90-0 | 実験 生分解 性 | 16 日 | 二酸化炭素の 発生 | 100 CO2発生 量/理論CO2発 生量% | OECD 301B - 修正シ ュツルム試験又は二 酸化炭素 |
| シラントリオ ール金属塩 | 営業秘密 | データ不足 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| エトキシ化ア ルキルアルコ ール | 営業秘密 | 実験 生分解 性 | 28 日 | 生物学的酸素 要求量 | 80 %BOD/ThOD | OECD 301D - クロー ズドボトル法 |
| シロキサン系 消泡剤 | 営業秘密 | データ不足 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| エトキシ化 C9～C11ア ルコール | 68439-46-3 | 実験 生分解 性 | 28 日 | 生物学的酸素 要求量 | 88 %BOD/ThOD | OECD 301F |

生体蓄積性

| 材料 | CAS番号 | 試験の種類 | 期間 | 試験の種類 | 試験結果 | プロトコル |
|---------------------|------------|---------------------------|------|---------------|-------|------------------------|
| アクリルコポリマー | 営業秘密 | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| ポリケイ酸リチウム | 12627-14-4 | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| 分枝アルキルアルコールアルコキシレート | 営業秘密 | 推定値 生態濃縮 | | 生物濃縮係数 | 3.5 | |
| エトキシジグリコール | 111-90-0 | 実験 生態濃縮 | | オクタノール/水 分配係数 | -0.54 | |
| シラントリオール金属塩 | 営業秘密 | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| エトキシ化アルキルアルコール | 営業秘密 | 類似コンパウンド BCF - 魚 | 10 日 | 生物濃縮係数 | 309 | |
| シロキサン系消泡剤 | 営業秘密 | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| エトキシ化 C9~C11 アルコール | 68439-46-3 | モデル 生態濃縮 | | 生物濃縮係数 | 31 | Catalogic [™] |

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

化管法：第1種指定化学物質

消防法：指定可燃物 (可燃性液体類)

主な法規制物質

化管法

| 成分 | 政令名称 | 管理番号 | 区分 |
|------------------|---|------|-----------|
| エトキシ化C9～C11アルコール | アルファーアルキル-オメガ-ヒドロキシポリ (オキシエチレン) (アルキル基の炭素数が9から11までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が1,000未満のものに限る。) | 580 | 第1種指定化学物質 |

16. その他の情報

改訂情報

- セクション1：担当部門の電話番号 情報修正.
- セクション1：製品用途 情報の追加.
- セクション2：GHS分類 情報修正.
- セクション3：成分表 情報修正.
- セクション5：火災時情報 (消火剤) 情報修正.
- セクション6：事故漏出時の清掃 情報修正.
- セクション7：貯蔵情報 情報修正.
- セクション8：眼および顔面保護 情報修正.
- セクション8：mg/m³ 記号 情報の追加.
- セクション8：作業環境許容値 情報修正.
- セクション8：保護具 - 眼 情報修正.
- セクション8：ppm 記号 情報の追加.
- セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
- セクション8：皮膚保護-偶発的な接触 情報の削除.
- セクション8：皮膚保護-偶発的な接触 追加 情報の削除.
- セクション9：融点/凝固点 情報修正.
- セクション9：色 情報修正.
- セクション9：燃焼性 (固体、ガス)情報 情報修正.
- セクション9：ナノパーティクル 情報修正.
- セクション9：追加性状に関する記載 情報の追加.
- セクション10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加.

セクション 1.1 : 急性毒性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 生殖細胞変異原性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 生殖毒性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション 1.1 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 皮膚感作性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション 1.1 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション 1.2 : 成分生態毒性情報 情報修正.
セクション 1.2 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション 1.2 : 生態濃縮性情報 情報修正.
セクション 1.4 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション 1.5 : 法規名 - 表 情報の削除.
セクション 1.5 : 化管法の表 情報の追加.
セクション 1.5 : 適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。